

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

令和7年12月26日から令和8年1月16日にかけて、町ホームページにて計画案を公開し、パブリックコメントを募集したところ、3名の方から3件のご意見・ご提言が寄せられました。寄せられたご意見・ご提言に対し、以下のとおり町の考えと計画への対応点についてお示しします。

項目番号	意見提言の別	意見・提言の要旨	町の考え方	計画への対応
1	意見	<p>私は震災後の移住者なので能登町を知り尽くしていないし、表面に見える事象からしか提案できませんが、能登町には可能性が沢山あると思います。未来に向けて大切なことは2点。</p> <p>1. 町の所有物を考える</p> <p>既存の施設、閉校になった学校など、リノベーションして新しいものに生まれ変わらせることでコストを抑える。そこに民間の力を借りる。学校を宿泊施設にした例もあります。耐震性のある建物、広い敷地はキャンプ場にも活用できると思います。できるだけ町の持ちものを減らし、民間の介入をしてもらった方がいいと思います。一方でこれは！というものは町が作らなければいけないので、そのメリハリを考えなければいけないと思います。公民館や集会所は地域で所有しているところが多い中、能登町では町所有になっています。それを住民にしっかり説明してスリム化することも大事だと思います。</p>	<p>1. 公共施設の再編と民間活用について</p> <p>ご意見にありましたとおり、公共施設の再編においては、既存施設のリノベーションや民間活力の導入が重要であると認識しております。特に、閉校となった学校施設の利活用については、他自治体の事例も参考にしながら、能登町の実情に合わせた検討を進めてまいります。耐震性のある建物や広い敷地を有する施設については、民間事業者と連携し活用を検討します。</p> <p>集会所については地域への移譲を進めており、その他の施設におきましても施設分類別の保有優先度や個別の施設の再編方針に基づき、町が責任を持って整備すべき施設と、民間で対応可能な施設を明確に区分し、財政負担の軽減とサービスの質の向上を図</p>	

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

	<p>2. お父さん、お母さん、子どもたちの居場所づくり</p> <p>とにかく若い人の目に魅力的に映る町づくりが大切だと思います。今の子育て世代、若い子たちがいつか家族と住むにあたり財政面での支援だけでなく、子どもたちの室内遊び場とカフェなどのくつろげる空間を一体化させて「あそこに行けば誰かに会えるかも」「あそこで待ち合わせしよう」といえる居場所があったら嬉しいのではないかと思います。屋外では柳田公園が素晴らしいと思います。そしていつかその子たちが大きくなって能登町で子育てを考えてくれたらいいですね。</p> <p>前回のパブリックコメントの集計で、なごみのプールのお話が上手く伝わっていないな、と申し訳なく思ったのですが、私の思いはただただ子どもたちのプールの楽しみを確保できたら、との思いで、その一つとしてなごみの活用もありか??と書いてのコメントでした。なごみさんの今後の活用についてはよき方向へ、と思っています。プールの維持は割と時間、手間、お金がかかるものなので、子どもたちの楽しみを確保をしながら市民の方々も利用できたらよいのでは、と思った次第です。上手くお伝えできず申し訳ありませんでし</p>	<p>ります。</p> <p>2. 子育て世代の居場所づくりについて</p> <p>能登町復興計画方向性18にて「こどもの遊び場の創出、こどもの居場所づくり」に取り組むとしていることから、子育て世代が交流できる居場所の創出については、子どもたちの成長を支える重要な視点であると受け止めています。柳田植物公園内において、子どもたちの屋内の遊び場の整備を進めており、公園内のレストランや近隣のカフェなどと連携し、子育て世代がくつろげる空間の創出を図ります。また、他自治体の先進事例について共有いただきありがとうございます。能登町においても町民のみなさまのニーズに合わせた柔軟な施設運営を目指します。</p> <p>今後も、町民の皆様のご意見を伺いながら、持続可能な公共施設の管理を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	
--	---	---	--

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

	<p>た。</p> <p>YouTube で見た神奈川県真鶴町の町長さんの考え方に共感することが多く、可否はともかく参考にできるところがあるのではと思いました。</p> <p>また、医療・福祉については中能登町の「あじさい会」のような横の繋がりとお互い信頼感が増すと思います。それぞれ活躍している+顔の見える関係を構築しみんなで盛り上げていくことができたらよいなあと思います。</p> <p>以上です。最後まで読んでくださりありがとうございました。</p>		
--	--	--	--

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

項目番号	意見提言の別	意見・提言の要旨	町の考え方	計画への対応
2	意見	<p>4-24 スポーツレリേഷョン施設 ①体育館 再編成方向性について 「新総合体育館の整備場所については、柳田植物公園内で検討し屋内プール・武道館と集約する」とあるが、</p> <p>以下意見。</p> <p>1. 柳田植物公園内に限定する背景の説明が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物園を合わせて人が集まる場所にする、町外者の利用促進を考え珠洲道路と近いなどの選定理由など植物公園内とするコンセプト・将来像が見えない。 ・他の候補地の検討結果は？ 	<p>1. 柳田植物公園内に整備する方針とした背景について</p> <p>候補地の検討状況は以下のとおりです。</p> <p>▼柳田植物公園内</p> <p>メリット：町の中央部に位置し、珠洲道路からのアクセスもよい。敷地が広い。また体育施設以外の既存施設との連携が見込める。</p> <p>デメリット：人口の重心から離れる。</p> <p>▼旧松波小学校跡地</p> <p>メリット：比較的早期着手が可能。</p> <p>デメリット：人口の重心から離れる。</p> <p>▼能都野球場</p> <p>メリット：人口の重心に近い。</p> <p>デメリット：周辺の道路が狭い。比較案の中で敷地が一番狭い。</p>	

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

▼ピアツァ

メリット：利用頻度の高いテニスコートと一体的な管理が可能。概ね人口の重心に近い。

デメリット：多目的広場（サッカー利用）ができなくなる。現在仮設住宅団地となっており着手するまでに時間を要する。

上記の検討状況から以下のような点で、柳田植物公園内に整備する方針としております。

・地理的優位性および交通利便性：町の中央部に位置するため、町内各地域からの移動時間の偏りが少なく町民利用がしやすい立地である点、また珠洲道路からのアクセスが良く、町外からの利用者にも利便性が高い点があげられます。さらに、屋内プールや武道館との複合化により、スポーツ施設の一体的な利用が可能であると考えております。

・将来的な公園整備：柳田植物公園とスポーツ施設が一体となった、多世代が楽しめる空間づくりを目指します。

これから実施計画の策定段階において、地盤調査やインフラの整備など、多角的な視点を含め、今後も検討を進めてまいります。また、新総合体育館に限らず、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行う手法等（PPP）についても検討してまいります。

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

		<p>2. 柳田植物園運営の指定管理者が目指す柳田植物園の将来像・コンセプトと整合性があるのか？（コンセプト・目指す方向性は一致しているのか）</p> <p>3. 将来、小学校・中学校の統合が進み、一ヶ所になるとしたなら、児童・生徒が活用しやすい場所を検討する必要はないのか。</p>	<p>2. 柳田植物園の将来像・コンセプトとの整合性 以下の点に配慮します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設配置の工夫：植物公園の景観や満天の星空観賞など、魅力を損なわないよう、指定管理者と連携しスポーツ施設の配置の最適化を図ります。 ・イベント・アクティビティの連携：単なるスポーツ施設としての活用だけでなく、植物公園内で実施するイベントやアクティビティ施設との相乗効果を図ります。 ・防災拠点としての機能向上：災害対応機関等の集結・支援拠点等としての防災機能の強化を図ります。 <p>3. 児童・生徒の利用しやすさについて 柳田植物公園内に整備する方針理由としては「1. 柳田植物公園内に整備する方針とした背景について」のとおりです。交通手段の見直しや通年利用可能な施設整備を行い、児童・生徒のみならず町民全体が利用しやすい施設を目指します。</p> <p>今後も、地域のみなさまのご意見を伺いながら、計画の具体化を進めてまいります。</p>	<p>該当箇所：個別施設計画 P4-33 内容：「柳田植物公園全体の防災拠点としての機能向上や魅力向上については、民間アイデアの活用や官民連携の可能性を検討していく」という文言を追記</p>
--	--	--	---	---

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

項目番号	意見提言の別	意見・提言の要旨	町の考え方	計画への対応
3	意見	<p>1. 町営住宅（さくら団地・わすみ団地等）の設備更新について 該当箇所： 4-3(2)維持管理・修繕・更新等の実施方針、5-2(1)町営住宅</p> <p>予防保全の徹底：計画案にある「故障や不具合を未然に防ぐ予防保全」に基づき、築31年が経過し大規模改修時期（目安30年）を迎える「さくら団地」や、築25年の「わすみ団地」などにおいて、キッチン、トイレ、浴室などの水回り設備を計画的に更新してください。（IHクッキングヒーター、キッチンシンク、温水洗浄便座、快適性・省エネ性のある浴室・浴槽、エコキュート等）</p> <p>居住性向上の優先：計画に記された「居住性の低下を未然に防ぐ改善事業」を具体化し、単なる修理にとどまらず、現代の生活水準に合う節水・省エネ設備への刷新を優先的に実施することを強く要望します。</p> <p>バリアフリー改修：公共施設全体の方針であ</p>	<p>1. 町営住宅の設備更新について</p> <p>町営住宅に関しては、「能登町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、長寿命化及び維持管理を行うものとし、用途廃止となる公営住宅等については順次除却を行う方針としております。現在整備中の災害公営住宅も含めた町全体の町営住宅等の管理計画として改定予定です。</p> <p>・各団地において点検を適切に行い、水回り設備等の修繕を実施します。その際には過度な設備投資による住宅使用料の増とならないよう配慮しながら、居住性の低下を防ぐ設備更新を行い、安心して暮らせる住環境の改善を図ります。施設全体のバリアフリー化については、既存の住棟では建設当時の構造等の制約もあり困難ではありますが、今後の住宅整備として計画を進めております災害公営住宅におついてはユニバーサルデザインの視点を取り入れ、高齢者の方なども安心して生活できる環境を整えてまいります。</p>	

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

	<p>る「ユニバーサルデザイン化」を適用し、高齢化が進む団地内において、安心して入浴・排泄ができる環境を整備してください。</p> <p>2. 新総合体育館の整備と柳田地区への配慮について 該当箇所： 5-1(3)①体育館、5-1(5)①小学校（プール機能の集約）</p> <p>利用の空白期間への対策： 柳田体育館が旧耐震施設として除却される方針に関連し、新総合体育館完成までの間、地区住民のスポーツ活動が停滞しないよう、学校体育館の開放や利用予約のルール作りを確実に行ってください。</p> <p>各地区からのアクセスと駐車場確保： 各地区からは自家用車での移動が不可欠です。全町から利用者が集約されることを踏まえ、大会時でも不足しない駐車台数の確保と、送迎車両が安全に停車できるスペースの整備を強く要望します。</p> <p>複合施設の機能充実： 小学校プールの集約先となる屋内プール整備にあたっては、児童が冬場も安定して水泳学習を行えるよう、適切な設備を確保してください。</p>	<p>2. 新総合体育館の整備と柳田地区への配慮について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用空白期間の対策： 既存体育館の除却に伴い、当面は今までどおり学校体育館の開放により対応することとしておりますが、その際の利用に関し、不具合がないように予約・利用のルールを明確化し、地域のスポーツ活動が停滞しないよう配慮します。 ・各地区からのアクセスと駐車場確保： 交通手段の見直しや、施策を検討し交通手段の確保に努めます。整備する体育施設の規模に応じて、駐車スペースの確保について検討していきます。 ・屋内プールの機能確保： 小学校プールの集約化にあたっては、児童の水泳学習に支障がないよう通年利用が可能な整備を行います。 	
--	---	---	--

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

	<p>3. 老人福祉施設（笹ゆり荘）の集約について 該当箇所： 5-1(7)③老人福祉施設 機能継続の明示： 笹ゆり荘を「他施設への集約・複合化」とし、建物は民間譲渡または除却する方針について、具体的な集約先と、現在提供されている高齢者の憩いの場・交流機能がどのように維持されるのかを明示してください。</p> <p>4. 宿泊・温浴施設（能登やなぎだ荘）の民間譲渡について 該当箇所： 5-1(3)⑨宿泊施設、5-1(3)⑩温浴施設 町民利用の維持： やなぎだ荘および温泉センターの「民間譲渡を基本とする」方針について、地域の雇用維持と観光振興の観点から期待しますが、住民の日常的な入浴機会が損なわれないよう配慮してください。</p> <p>譲渡条件の設定： 町民が継続して手頃な料金で利用できる仕組みの維持を、譲渡先との契約条件に盛り込むことを検討してください。</p> <p>5. 防災機能の強化と長寿命化 該当箇所： 4-3(5)長寿命化の実施方針、6-2(1)町民との情報共有 復興拠点の整備： 令和6年能登半島地震および</p>	<p>3. 老人福祉施設（笹ゆり荘）の集約について ・機能の継続性： 笹ゆり荘の高齢者交流機能については利用状況を踏まえ、やなぎだ荘などの近隣の施設（入浴機能）との集約・複合化を検討します。具体的な集約先などの方針については今後検討していくこととしており、今後も、地域のみなさまのご意見を伺いながら、計画の具体化を進めてまいります。</p> <p>4. 宿泊・温浴施設（やなぎだ荘・温泉センター）の民間譲渡について ・町民利用の維持・譲渡条件の設定について： 民間譲渡後も、町民が継続して利用できる機会の確保に努めていきます。</p> <p>5. 防災機能の強化 ・復興拠点の整備： 来年度から地域防災計画の見直しを予定しており、その中で防災・避難所機能や地域拠点の位置づけを</p>	<p>該当箇所： 総合管理計画 P4-5 内容： 「防災機能の強化の実施方針」を追記し、</p>
--	--	---	---

能登町公共施設総合管理計画(改訂版_第2期)および、第2期能登町公共施設個別施設計画(案)
へのパブリックコメント 回答一覧

	<p>奥能登豪雨の経験を踏まえ、新施設は「広域避難拠点」として、十分な備蓄機能と非常用電源を備えた強靱な施設として整備してください。</p> <p>情報共有：施設の廃止や再編は住民生活に大きな影響を与えるため、検討段階から地域住民との情報共有を密にし、合意形成を図りながら進めてください。</p> <p>6. 道路インフラの維持修繕について 該当箇所：5-3(1)道路、4-3(3)安全確保の実施方針</p> <p>被災箇所の優先対応：震災および豪雨により損傷した道路のうち、現在も維持修繕ができていない箇所について、優先順位を再検討し、早期の復旧・補修を要望します。</p> <p>予防保全の徹底：震災の影響による潜在的な劣化を把握するため、日常パトロールや定期点検を強化し、大規模な被害に繋がる前の「予防保全」を徹底してください。</p> <p>情報公開の推進：危険箇所の把握状況や修繕の計画時期について、地域住民に分かりやすく情報を共有する仕組みを構築してください。</p>	<p>整理することとしています。新設する施設については、地域防災計画における考え方と整合性を図りつつ、検討をすすめていきます。</p> <p>・情報共有： 施設の廃止・再編に関する検討状況は、随時、地域のみなさまに情報を共有する機会を確保し、ご意見を伺いながら進めていきます。</p> <p>6. 道路インフラの維持修繕について</p> <p>・被災箇所の早期復旧： 震災・豪雨で損傷した道路のうち、特に緊急性の高い箇所から優先的に修繕を進めます。</p> <p>・予防保全の徹底 日常パトロールや定期点検を今後も引き続き実施していきます。</p> <p>・情報公開の推進：令和7年11月に地区別の懇談会を開催し、地区ごとの復旧状況や見通しをお示しさせていただきました。危険箇所の把握状況や修繕の計画時期について、地域住民に分かりやすく情報を共有できるよう今後も務めていきます。</p>	<p>「令和6年能登半島地震及び令和6年奥能登豪雨による被害状況を踏まえ、地域防災計画等との整合性を図りながら、公共施設等の防災機能の強化を推進する。」ことについて記載。</p> <p>該当箇所：総合管理計画 P5-26</p> <p>内容：「5-3 インフラ系公共施設の管理に関する基本的な方針」の「(1)道路」に「なお、優先順位については、能登町地区別復興まちづくり計画等との整合性を図りながら進めることとする。」ことについて記載。</p>
--	---	---	--